



鈴木秀尚 議員  
が町に問う！

# 高齢者の安心

## 移動手段の確保は

答弁 関係各課と連携して研究します

**Q** 高齢者の一番の願いは、移動手段の確保である。町の取組は。

**A** 長生き支援課長 公共交通機関の維持・充実に努めるとともに移送サービスの運営へも支援を考えています。

**Q** 今後、運転免許を返納する高齢者が増え、移動手段の確保は今の以上の総合的な施策が必要になると考えるが。

**A** 副町長 移動手段の確保は重要ですので、様々な方策を庁内で連携し検討していきます。

## 学校給食の充実に向けて

今後の取組は。

**A** 学校教育課長 無償化により、食への関心が薄れることがないよう児童はもちろん、保護者にも食の重要性を伝えるとともに、生産

者との交流も図ります。

**QA** 新給食センターの概要は。

**A** 学校教育課長 炊飯施設や見学スペースのある給食センターを考えています。農産物は、農家・農協・給食センターと連携を図りながら有機農産物の利用割合の向上につなげたいと考えています。

●その他の質問  
擁壁や法面の安全性



食器のリニューアルも楽しみ



山口勝士 議員  
が町に問う！

# ごみ処理

## 新施設建築に向けた考えは

答弁 信頼関係を構築し丁寧な協議を進めます

**Q** 「新」ごみ処理施設「建築」に向けての協議がスタートする。協議会の枠組みは1市4町1村（東松山市・小川町・嵐山町・ときがわ町・滑川町・東秩父村）。今後の協議に臨む基本的な考え・姿勢は。

**A** 環境農林課長 令和7年12月に基本合意を締結し、今後、本格的な協議を進めていきます。可燃ごみの処理は、令和4年4月から民間委託していますが、将来にわたる持続可能なごみ処理体制の構築は喫緊の課題となっています。今後の協議に際しては「町民の生活環境を守ること」「財政負担の適正化と平準化を図ること」「環境負荷の低減に配慮した施設整備を目指すこと」の3点を基本として取り組んでいきます。また、協議会に参加する各市町村の立場を尊重す

るとともに、信頼関係を構築し、丁寧な協議を図ります。

**QA** 今後の住民への情報提供は。

**A** 環境農林課長 協議が進み、「施設設備の基本構想」が決定した段階など、丁寧な情報提供に心がけます。

●その他の質問  
パトリアおがわの庭園の活用  
団塊の世代が75歳以上になる時代を迎えて



解体を待つ中爪の焼却施設

シリーズ

# 16の1歩!!

## 進み続ける議会

Vol.11

2学童クラブの新築に係る予算は6億円を超えるものとなりました。予算審査・議論を経て、本会議では初めてとなる附帯決議を付す結果に。また「14人議会」に向けた16人の歩みは続きます。

## 令和8年度一般会計予算 放課後児童施設整備に「附帯決議」を付す!

町立小学校の再編に伴って、2小学校(旧西中及び現小川小)の敷地内に建設される学童保育の整備事業に対し、本会議では初めてとなる附帯決議を全会一致で付しました。

適正な事業の執行管理や、安易に事業費の増額を行わないこと等を強く要望。議会は事業の動向を注視していきます。



議会の「意思」を町長と教育長に

附帯決議文は  
こちらから

## 5項目の諮問→答申に向けた取組 嵐山町議会「予算特別委員会」を視察!

議会運営委員会は、高瀬議長からの諮問を受けて嵐山町議会の予算特別委員会を視察(傍聴)しました。議員定数14に向けた移行期間の在り方(答申)について、調査研究に励んでいます。



嵐山町議会の会議の進め方に興味津々

諮問文は  
こちらから



嵐山町議会 伊守勝義議長  
傍聴ありがとうございました。当議会では、平成19年3月から当初予算審議を予算特別委員会に付託する方式を取り入れました。課題もありますが、参考になれば幸いです。

## 議会の広聴活動がスタート 老人クラブの「声」を聴く!

去る4月21・24・26・28日に、老人クラブの皆さんと「健康といきがい」をテーマに、懇談会を実施しました。いずれの会場もテーマの枠にとらわれず、多岐にわたるご意見が寄せられました。議会に対する叱咤激励もありがたく頂戴しました。各会場の『熱気』は、次号で特集しますのでご期待ください!

みんなとサッカーをすることが楽しみです。(はるきさん)

体育が楽しみです。逆上がりがとくいです。(かおさん)